

のり海況速報 第9報 (24-9)

9 平成25年 1月25日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 1/21：内湾(わかふさ)、1/24：内房北部(わかふさ)
 関東・東海海況速報(1/10-25)、東京湾口海況図(1/10-25)
 自動観測ブイデータ(1/10-25)、拓南観測データ(1/10-19)
 モニタリングポスト(1/21：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)は前回(1月8日)よりさらに1℃下がり、ほぼ8～10℃台になっています。塩分は31～32台前半で、平年並みからやや高めになっています。
- ・また、内湾縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図2上)では、水温・塩分とも表層から水深20m付近までは上下混合で、ほぼ同じ水温になっています。
- ・内房北部の表層水温も降下し、10℃台後半～12℃台になっています(図1)。
- ・1月7日頃から浦賀水路航路付近まで流入した沖合水は19日頃から弱まり、現在東京湾口部の水温は14℃台に止まっています。

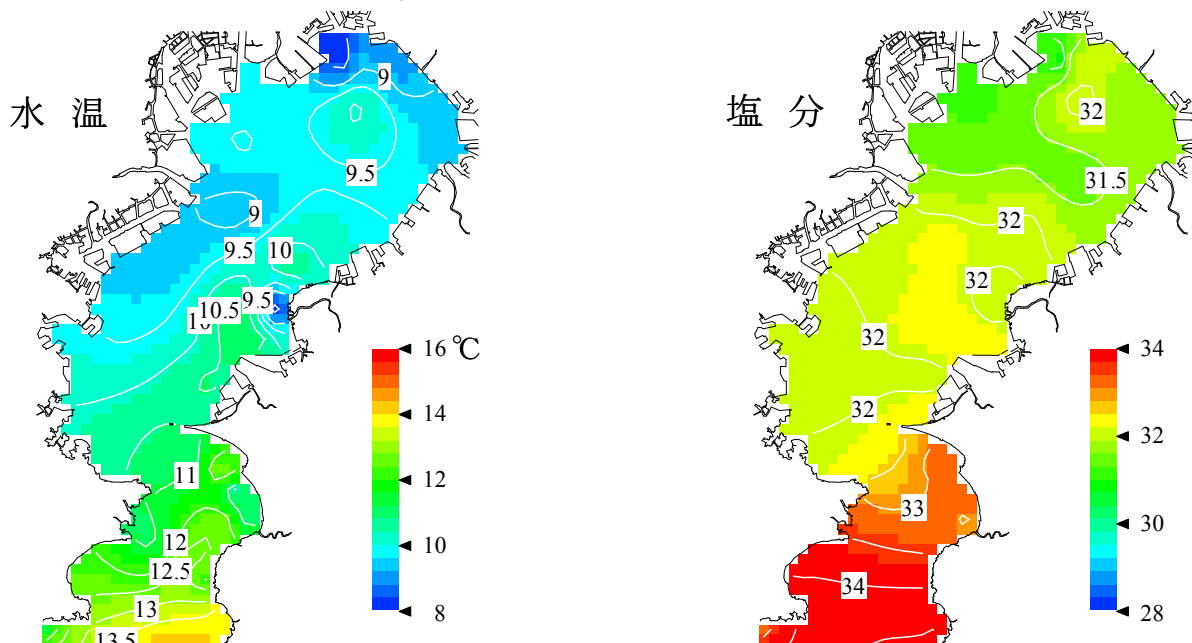


図1 表層の水温・塩分の分布(平成25年 1月21, 24日)

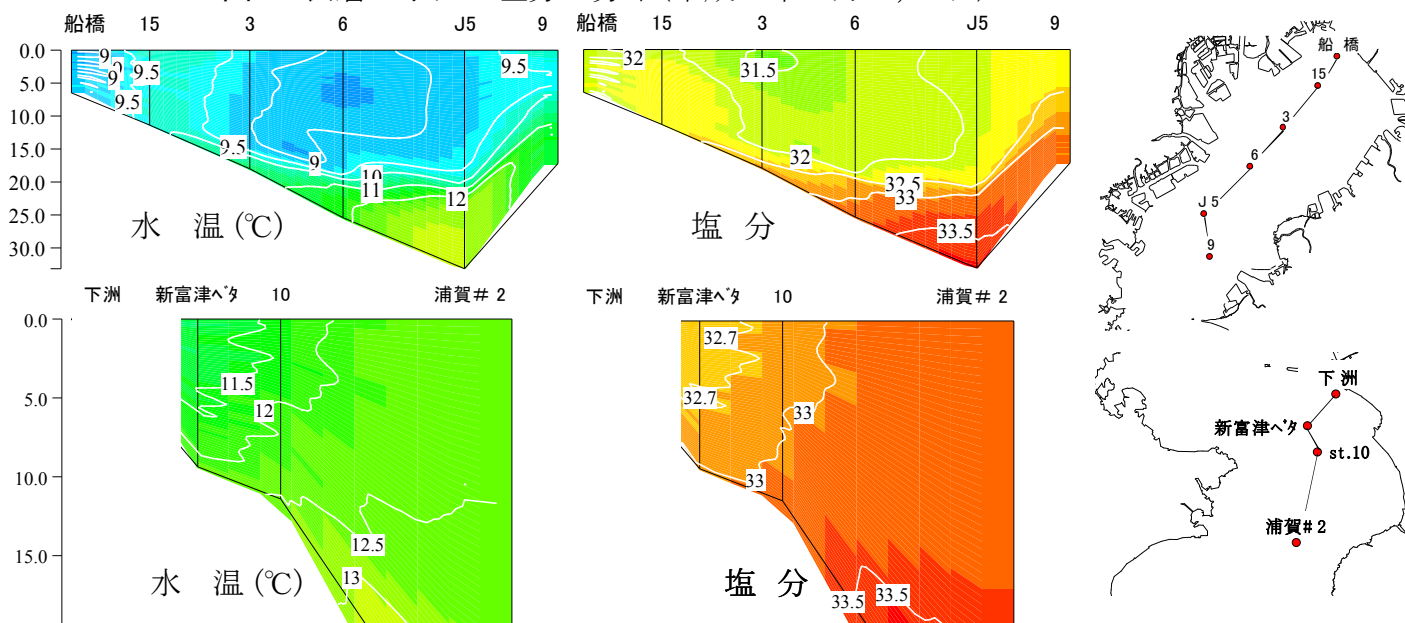


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成25年 1月21, 24日)
 (上：内湾(1/21)、下：内房北部(1/24)、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】 依然、ケイ藻プランクトン多い。リン不足。

- ・透明度は3m前後とやや回復してきていますが、依然、スケルトネマやタラシオシラなどのケイ藻プランクトンが多く、内湾北部ではさらにキートケロスが増加しています。また、水色は内湾中央から北部海域で褐色基調で、赤潮気味になっています。
- ・表層の栄養塩は窒素(DIN)は十分維持されていますが(図3左)、リン(DIP)が内湾で大きく減少しています(図3右)。各のり漁場でも16日頃からノリの色落ちが心配される濃度まで低下していますので(図4)、今後の動向には注意が必要です。

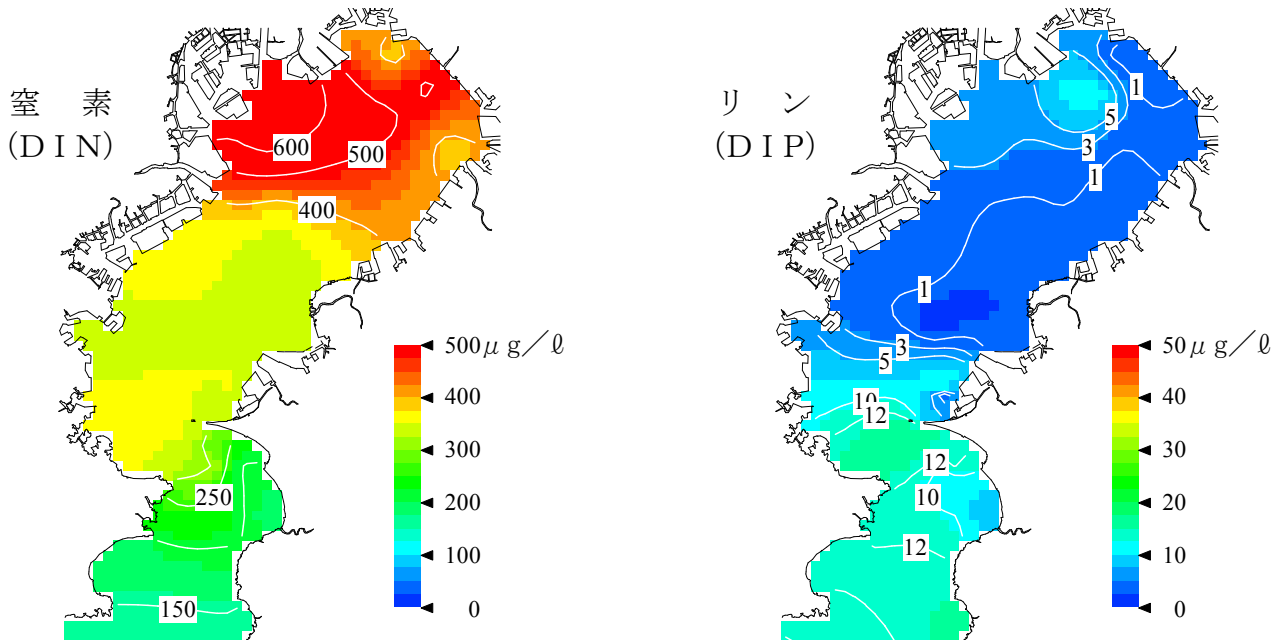


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成25年 1月21, 24日)

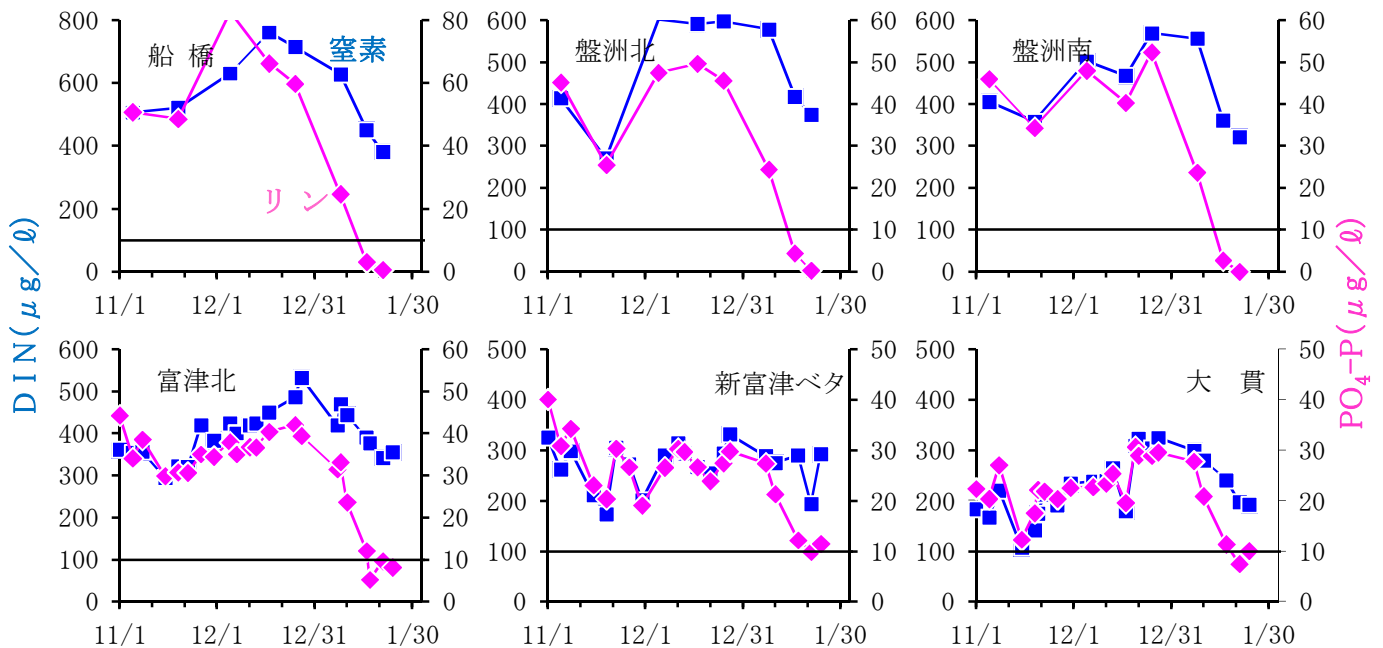


図4 各地先における栄養塩濃度の経過(表層:平成24年11月1日~25年1月24日)
(図中の横線はノリの色落ちを引き起こすとされる目安の濃度 ■:DIN ◆:PO₄-P)

り養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各り養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”り養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html